

## 洞爺湖有珠山ジオパーク散策マップより 『有珠山登山道』 紹介



木々に囲まれた登山道

有珠山は、人の生活圏に近い山です。学校の遠足や登山会等で、登った経験がある方も多いのではないのでしょうか。

有珠山は活火山で、火山ガスや崩落の危険性もあるため、現在、山頂部には特別な許可が無ければ立ち入ることはできません。でも、山頂部を取り囲む外輪山や火口原展望台（標高約 570m）までは、徒歩で登ることができます。



外輪山遊歩道から見える有珠新山

有珠山登山道は、有珠山の南斜面（噴火湾側）から登るルートで、伊達市有珠町に登山口があります。登山口から外輪山展望台まで、距離は約 3 km。ところどころに急な場所があります。森に囲まれた登山道を 1 時間半程進んで外輪山展望台に到着すると、噴火を繰り返してきた有珠山の山頂部分と、1977-78 年の噴火で火口になった「銀沼火口」の壮大なパノラマが広がります。銀沼火口の内側に見えるきれいな縞模様は、かつての噴火で、繰り返し噴出物が積もったことがよくわかる場所です。



噴火湾沿岸の眺望

有珠山登山の歴史は古く、有珠善光寺の成立ちが書かれた『蝦夷地大白山善光寺縁起』（1806 年版）には、1666 年以前から「回国修行の者は必ず来りて堂に詣て山に登る事になれり」とあり、修行として登る人がいたと記録しています。有珠山が、当時から特別な山と考えられ、信仰を集めていたことがうかがえます。

活火山として科学的な研究が進められている有珠山ですが、歴史や文化の側面からも、たくさんの魅力を秘めた山といえるでしょう。

登山道は例年 4 月末～11 月中旬まで利用できます。

引用文献：昭和女子大学大学院生活研究機構研究科紀要 Vol.26 (2017)

「有珠善光寺関係資料」関口静雄 宮本花恵



「有珠山登山道」は、『洞爺湖有珠山ジオパーク 散策マップ』〈火山編〉でご紹介しています。

～ 有珠山登山を楽しむために ～

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを携帯し、人との距離は十分にとりましょう。
- ・ 登山口で、入山、下山の時刻と氏名を記入しましょう。
- ・ 歩きやすい靴を履きましょう。
- ・ 防寒具・雨具・飲み物・クマよけの鈴があると安心。
- ・ 草木や花・岩石は取らないで下さい。
- ・ ゴミは持ち帰りましょう。

☆ 帰宅後、しっかりうがい・手洗いをしましょう！

洞爺湖有珠山ジオパークは、北海道伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の 4 つの市町の取組みです。様々な活動を通して、この地域の大地の魅力をお伝えしています。